

平成27年7月10日
バンコク産業情報センター
中野秀紀

一般調査報告書

初めてのタイへの進出～生活基盤編

初めての海外進出といえば、最近タイをイメージすることも多いのではないのでしょうか？当センターが受ける相談も、運輸、IT、サービス業、接骨院など、業種の多様化が顕著です。

今では製造業はほぼ一巡し、その製造業を目当てとした運輸、サービス業、そして日泰の観光客の往来にも目を付けた関連ビジネスなど、進出相談内容は多岐に渡ります。

このような企業の方々には、会社、企業グループとして初めての海外進出にタイを選ばれる方が多く、ガイドブックにはあまり書いていない、現地でのタクシーの乗り方、安全確保の仕方、健康上で留意すること、将来的に駐在員を置きたいがどこの当りに住まわせるのか、家賃はどのくらいか？など、当センターへ寄せられる質問も多岐に渡ります。

そこで今回は、交通事情、安全確保、健康上の留意点、現地駐在員のハウジング事情等について、私の実体験を踏まえて、特集します。

1. 交通事情について

タイでは、都心部を移動するためには、BTS（高架鉄道）、あるいはタクシーが一般的です。

ちなみに、自動車道路は、自動車普及率が20%弱にもかかわらず、朝・夕は猛烈に渋滞します。

混雑は、同じ曜日・時間帯であっても様々で、現地ドライバーでも混雑具合を読めない場合が多く、日本のように決まった時間に5分前に到着するのは、なかなか至難の業です。

早目に到着できるように出発し、現地付近で相手とのアポイントの間まで時間を調整するなどの工夫が必要となります。

以下、ガイドブックにはあまり書いていない情報やちょっとしたコツをご紹介します。

(BTS)

- ・チケットを買う際には、基本的に小銭を用意する必要があります。

窓口で100バーツ札等を出し、「チェンジ」と言うと10バーツの小銭へ両替されますので、小銭をもってチケット販売機を利用します。

- チケット販売機は、先に料金ボタンを押して、後に小銭を投入します。
ここでは、紙幣は（基本的に）使えません。小銭を先に入れても排出されます。
- BTSには、時刻表はありませんが、概ね3分～5分程度の間隔で、（駅にもよりますが）朝5時30分頃から夜0時頃まで稼働しています。
- BTS車内は、朝・夕の通勤ラッシュ時はとても混雑しており、スリに会う例も良く聞きます。悪質な事例として、人込みでカバンをナイフで切られ、中身を取り出される事例です。手元の荷物に目を離さないようにすることが必要です。
- BTSを含めた公共交通機関では、毎日朝8時と夕方の6時に、国歌が流れます。その際は、終わるまで動かずに、その場に静止してください。

（タクシー）

- 初乗り35バーツでとてもリーズナブルですが、運転手は、自分の希望と異なる方向への運行を拒否する場合があります（本来は、乗車拒否はタイでも違法です）。また、英語は高い確率で通じず、地図も複雑なものは読めない場合が多々あります。
- 一方、空港、ホテルなどの乗降場などで、英語が通じる係員がいる場所では、係員に英語で行先を伝え、タイ語で運転手に伝えてもらうと良いと思います。
- 初めてのタイであれば、運転手付のレンタカーを利用されることをお勧めします。タイでは、一日、1,500～2,000バーツで利用ができます。当センターに問い合わせをいただければ複数の事業者を紹介することも可能です。
- 利用の流れ
 - ① 赤い表示が出ているタクシーを止める。（雰囲気が悪ければ乗車しないことをお勧めします）
 - ② 助手席ドアを空けて行先を告げる。（又は簡単な地図を見せる）
 - ③ 運転手が首を縦に振れば、乗って大丈夫です。（この際、乗車拒否されることもあります）
 - ④ 30分程度の乗車であれば、60～70バーツ程度の場合が多く、20バーツ札を数枚用意しておいた方が良いです。
例えば、高額紙幣である1,000バーツ札、或いは500バーツ札を出すと、お釣りは無いと言われることが多いです。タクシーを利用する際には、100バーツ以下の紙幣を用意しましょう。
- ちなみに、タイ名物のトゥクトゥクは、観光客（白人が多い）に利用されている場合が多く、料金も乗る前に交渉制（大概、タクシーより高い）で、あまりおススメはできません。

（安全確保）

- 現在、以前に騒がれたようなデモなどは発生していませんが、在タイ日本大使館の安全情報に従ってください。

(2015年6月30日現在) MERSについても騒がれていませんし、マスクを着用した方も、BTSの中では見かけません。

万が一、デモなど特定の政治運動などで人が集まっていた場合は、決して近づかないでください。

そういった運動の反対勢力によって、手りゅう弾などが投げ込まれる事例があります。

- ・タイにおいては、通常の行動をしていれば危険に巻き込まれることは概ありませんが、どんな理由であれ誰かに付いていく、個人的に何らかの便宜を図ってくれるといった言葉には、注意が必要です。

とりわけ、相手が日本人であっても、タイ人であっても、日本語で話しかけられる場合は、特に警戒してください。

- ・バイクを使ったひったくりも多くなっており、駐在員でも、歩きながらスマートフォンを使用していて、車道側から近づいたバイクにカバンを引きちぎられた方もいます。荷物は、必ず車道と反対側に持ってください。

(健康上の留意点)

タイは高温多湿であり、食べ物がすぐに腐敗します。また、水質も日本と比べれば十分とは言えません。以下、注意点を列挙します。

- ・基本的に、日本人の感覚で清潔そうなホテル、飲食店で出される水は大丈夫です。もし、オーダーで聞かれれば、一番安全なのが、タイ語で「ナンパオ」、いわゆるペットボトル水です。
- ・氷は成型された氷は大丈夫ですが、そうでないもの(屋台などでは、アイスピックで崩したものなどが提供されます)は、利用されない方が無難です。
- ・氷は仮に衛生的でもお腹が冷えるので断るのも良いと思います。「マイ・ナムケーン」(氷なし)とオーダーしましょう。
- ・食べ物は、初心者にはなるべく野菜や生エビなどは避けるようにして、十分に火が通ったものを食べるようにしましょう。辛い物を食べつづけるとお腹がゆるくなることもあります。衛生面も大切ですが、味覚の大きな変化にも注意してください。
- ・タイの気候は年中とても暑いですが、オフィス、車内などは強く冷房を強く効かせる傾向があり、ビジネスシャツも半袖よりも長袖が無難です。
- ・慣れないうちは、歯磨きのうがい、ブラシをすすぐのもペットボトルの水を使うことをお勧めします。
- ・個人差はありますが、万全を期すならば、シャワーの水も口に入らないようにすると良いです。
- ・睡眠を日頃よりも長めにとり抵抗力をつけるようにしましょう。
- ・万が一、具合が悪くなった場合は、以下の病院が都心であり、日本語対応が可能です。

(日本人向けの病院)

- ・バンコク都心界隈では、日本語が通じる病院が大きく2つあります。

地元の方、ホテル従業員であれば、必ず知っている病院です。

◇サミティベート病院(スクンビット) :

<http://www.samitivejhospitals-jp.com/sukhumvit/index.php>

◇バムルンラード病院 :

<https://www.bumrungrad.com/japanese>

費用については、私の個人的な経験では、深夜に子供が熱を出した、気分が悪くなったなどの処置では、2,000 バーツ前後のイメージです。

(駐在員のハウジング事情)

- ・日本人駐在員は、B T S の駅で言えば、プロンポン駅周辺に集中しており、東にエカマイ駅、西にアソーク駅あたりまでが、いわゆる日本人エリアです。
- ・バンコクには、日本人が経営している不動産屋仲介業者が多くあり、物件を探す際は、仮住まいのホテルまで不動産仲介業者に迎えに来てもらい、不動産仲介業者の車で物件を見て回ることが多いです。
- ・仲介料、礼金などの費用は客負担ではなく、全て不動産仲介業者が物件オーナーに請求をします。
- ・お子様も一緒に帯同される場合、日本人学校、あるいは幼稚園のバスのサービス範囲であることを確認しましょう。
- ・日系スーパーに近いことなども、条件にされると良いかと思えます。

(バンコク日本人学校について)

- ・編入するには、時々条件があるため、以下を適宜参照してください。

バンコク日本人学校HP : <http://www.tjas.ac.th/bkk/>

タイへの出張準備、現地での生活の立上など、企業活動に先立つ大切な側面ですので、当センターでは、会社設立手続き、販路開拓などと同様に、必要な情報を提供してまいります。

身の回りに相談できる相手がいないなど、お困りの際は、当センターまでお声掛けください。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。